

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-13		道路新設改良事業				
主管課	道路整備課	関連課					
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	人とか環境にやさしい道路網の整備及び道路環境の整備						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	476,050	100,927	182,526			
	(国・県)	110,893	12,650	1,000			
	(負担金等)						
	(一般財源)	365,157	88,277	181,526			
	人員配置数	1.5	1.3	2.1			
	人件費(千円)	13,034	11,976	19,693			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	489,084	112,903	20,219			
	市民1人当りの経費(円)	2,761	639	1,146			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
	実施計画の進行						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
生活道路の整備率	◎	目標値	20%	30%	35%	40%	100%
小町通り電線類の地中化事業進捗率		実績値	50%	80%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	○	実績値	60%	60%			
			20%	80%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
道路新設改良事業	476,050千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	歩行者や自転車、自動車が安全に通行できるよう、道路の拡幅・改良等を行い、質の高い道路環境の創出を図る。小町通りの電線類地中化事業を進める。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

<b>事業診断(課長評価)</b>	
H22年度の課題	事業実施内容等について関連企業との調整事項が多いため、調整に日時を要した。
課題解決のための取組	関係機関との調整会議を定期的に開催し、関連企業との調整に要する日時の短縮を図れた。
未解決の課題	全体計画に対する住民等の理解は得られたが、一部私有地等の個別の理解が得られていない部分がある。
今後の方針	引き続き事業内容を説明し、実施に向けた理解を得られるよう努める。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 → <b>B</b> ※□事業完了 課長名 道路整備課長 吉野正弘

